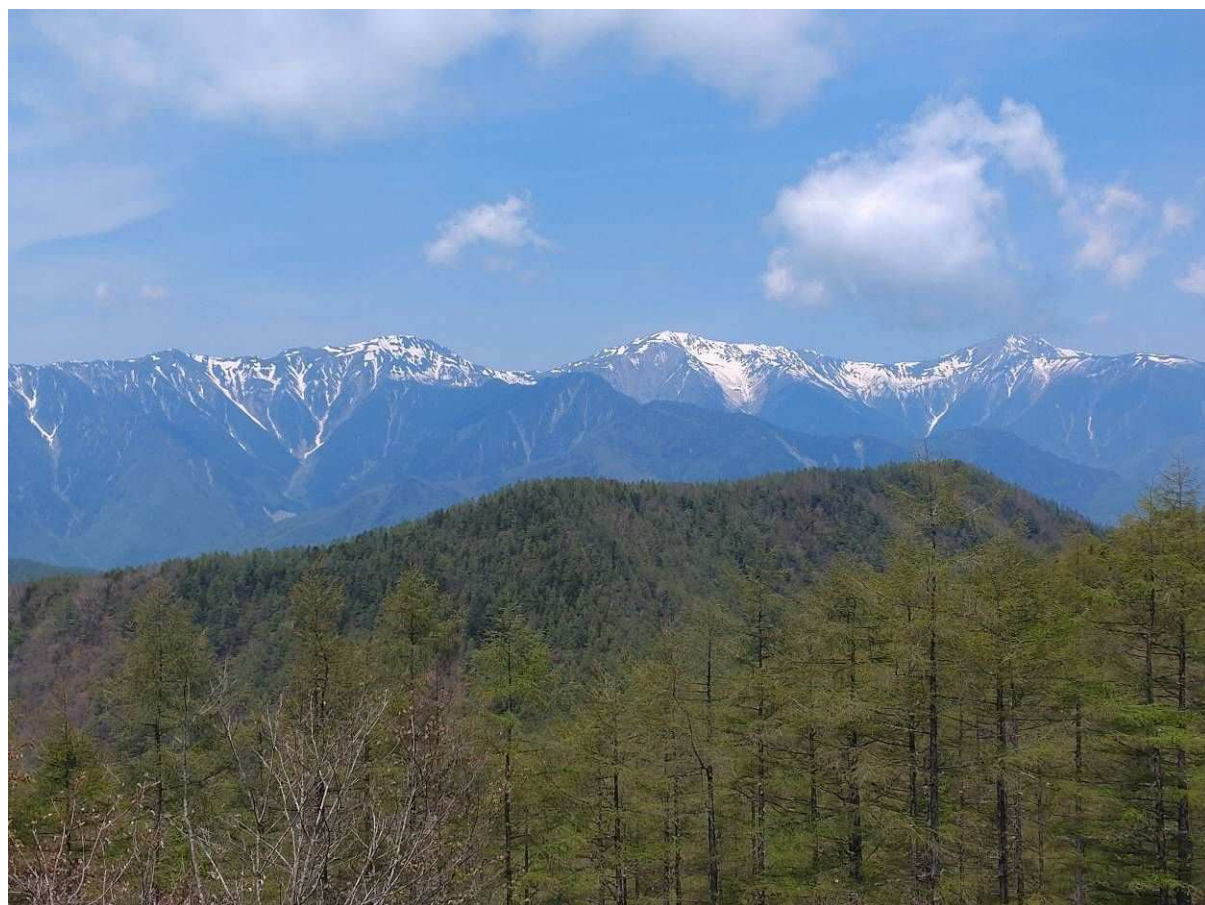


第5次県有林管理計画



計画期間 自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 1 3 年 3 月 3 1 日

山 梨 県

はじめに

本県は、県土の 78%を森林が占める全国有数の森林県です。県有林は、15 万 8 千 ha に及び、県内森林の 46%、県土面積（44 万 7 千 ha）の 35%を占めています。

この県有林の基となったのが、明治末期に相次いで発生した大水害の復興に役立てるよう、1911（明治 44）年 3 月に特別御下賜された入会御料地です。このため、県有林は恩賜林と呼ばれています。

県有林は、御下賜以来、先人たちのたゆみない努力によって守り育てられ、県民福祉の増進に寄与することを基本に、社会情勢の変化に応えながら、活力ある森林の維持・造成による県土の保全や、水資源の涵養、林産物の持続的な供給などの役割を果たし、本年 3 月に御下賜から 115 周年の節目を迎えました。

今回の計画は、近年の台風の大型化や記録的な豪雨の発生といった気候変動の影響や、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現に向けた動きなどを踏まえ、F S C が定める国際基準に基づき「環境・社会・経済」の 3 つの側面でバランスが取れた森林管理を進めるとともに、利用期を迎えた人工林を中心とする森林資源の循環利用の推進の実現に向け、これからの 5 年間の県有林の管理経営に関する実施計画として編成しました。

本計画により、県民の財産である県有林がもたらす多様な恵みを共有し、次の世代に引き継ぐために、適切な森林管理に取り組んでいきます。

目次

はじめに

第1章	県有林計画の沿革	1
第1	県有林の成立	1
第2	県有林計画の沿革	1
1	施業案の編成及び検訂期【1914（大正3）年度～1956（昭和31）年度】	1
2	臨時植伐計画の編成期【1957（昭和32）年度～1961（昭和36）年度】	2
3	段階的編成期【1962（昭和37）年度～1975（昭和50）年度】	2
4	経営計画編成期【1976（昭和51）年度～2005（平成17）年度】	3
5	管理計画編成期【2006（平成18）年度～】	3
第2章	第4次管理計画期間中の社会動向及び実行分析	7
第1	森林・林業施策等の動向	7
1	国の動向	7
2	県内の動向	8
第2	森林資源の状況	9
1	面積	9
2	蓄積及び成長量	9
第3	第4次計画の実行状況	10
1	基本方針	10
2	重点計画事項	10
3	基本的計画事項の実行状況	13
第3章	県有林の現況	19
第1	位置及び面積	19
1	位置	19
2	面積	20
第2	地況及び動植物	21
1	地勢	21
2	気象	21
3	地質	23
4	土壌	24
5	動植物	26
第3	林況	27
1	天然林	28
2	人工林	29
第4	事業施設	30
1	林道施設	30
2	採種園	30
第5	保安林及び国立公園等	30
第6	森林管理認証	32
1	認証取得の目的	32
2	認証取得の概要	32
3	認証取得更新の経緯	32
第7	土地貸地及び部分林等	33
1	土地貸付等	33
2	保護団体	33
第8	地域森林計画及び市町村森林整備計画	34
第9	森林経営計画	34

第4章	管理方針	35
第1	計画の位置付け	35
第2	基本方針	35
第3	重点的に取り組む事項	35
1	国際基準に基づく森林管理の推進	35
2	林業の持続的かつ健全な発展への寄与	36
第4	その他	37
1	県行分収林の管理	37
第5章	計画の基本的事項	39
第1	地種区分及び面積	39
第2	土地利用区分及び面積	39
第3	森林区画の区分及び面積	40
1	事業区	40
2	林班	40
3	小班	40
第4	作業団	43
1	作業団区分の考え方	43
2	本計画における作業団（作業団に準ずる単位）の名称	45
3	作業団（作業団に準ずる単位）ごとの生産目標・誘導目標	47
4	作業団（作業団に準ずる単位）ごとの施業基準等	52
第5	標準伐採量及び標準更新面積等	71
1	考え方	71
2	標準伐採量	73
3	標準更新面積	74
4	伐採を予定する箇所の選定方法	76
5	伐採箇所ごとの伐採量および伐採方法	76
6	伐採指定量	76
7	事業区別伐採指定量	77
8	地種別、作業団別、主間伐別伐採指定量	78
第6	造林及び保育	79
1	造林を予定する箇所の選定方法	79
2	造林箇所ごとの更新面積および更新方法	79
3	事業区別更新指定量	79
4	地種別、作業団別更新指定量	81
5	樹種別、更新種別面積内訳	82
6	保育指定量	82
第7	種苗の所要量	84
第8	林道その他搬出施設	85
1	計画方針及び計画量	85
2	作業システム	87
第9	保護及び管理に関すること	88
1	林野の保護	88
2	県有林の管理	92
第10	保健休養利用	96
第11	その他	97
1	カーボン・クレジットの活用	97
第6章	事業区別計画	99
第1	中北事業区	99
1	第4次計画期間中の主な出来事	100
2	位置及び地況	100
3	土壌及び林況	101

4	地域の特徴.....	101
5	森林整備の方針.....	102
6	事業計画.....	107
第2	峡東事業区.....	113
1	第4次計画期間中の主な出来事.....	114
2	位置及び地況.....	114
3	土壌及び林況.....	114
4	地域の特徴.....	115
5	森林整備の方針.....	115
6	事業計画.....	120
第3	峡南事業区.....	127
1	第4次計画期間中の主な出来事.....	128
2	位置及び地況.....	128
3	土壌及び林況.....	129
4	地域の特徴.....	129
5	森林整備の方針.....	130
6	事業計画.....	135
第4	富士・東部事業区.....	141
1	第4次計画期間中の主な出来事.....	142
2	位置及び地況.....	142
3	土壌及び林況.....	143
4	地域の特徴.....	143
5	森林の整備方針.....	144
6	事業計画.....	149

